

中土佐町社協だより

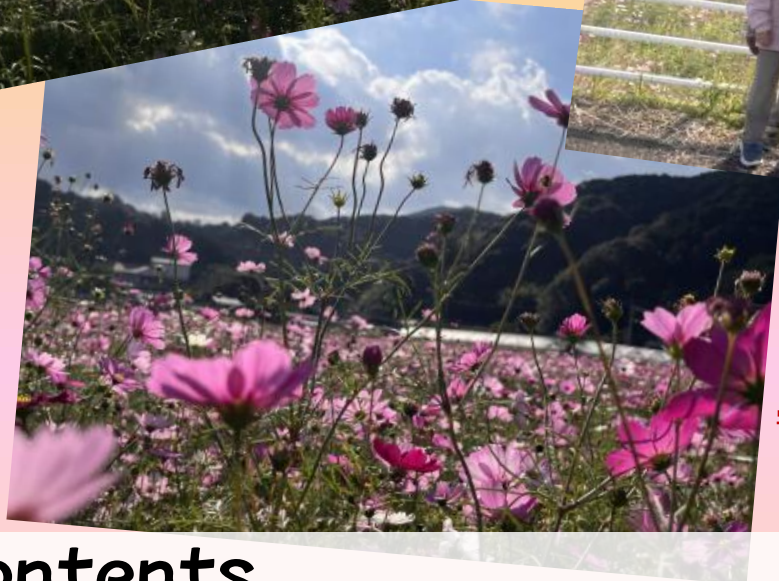
ふくしの

チカラ

冬号



2025 年 1 月



寄り家を利用されている皆さんで笹場地区の  
コスモス畑へお出かけ (おまけ P11)

## Contents

- ・ 新年のごあいさつ/抱負 . . . . . P2-3
- ・ 【特集】 シリーズ社協のこと教えて③
  - 『訪問介護事業所（ホームヘルパー） 編』 . . . . . P4-5
- ・ 久礼地域アクションプラン『ふれあい作品展』 . . . . . P6
- ・ 大野見地域アクションプラン『大野見みんなの文化展』 . . . . . P7
- ・ 笹場・押岡地区と福祉まちづくり施設の合同避難所運営訓練を実施しました . . . . . P8
- ・ 新採用職員紹介/赤い羽根共同募金運動のお礼 . . . . . P9
- ・ つどい処防災新聞〔令和 6 年度第 4 回〕 . . . . . P10
- ・ 表紙の「寄り家」を利用されている皆さんのエピソード（おまけ） . . . . . P11
- ・ 全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」での活躍紹介/ご寄付のお礼 . . . . . P12



# 新年明けまして

おめでとうございます

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は格別のご厚情を賜り、また本会の福祉活動に對しましても深いご理解とご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

長引く物価高騰の中、様々な困りごとを抱え暮らしていくさを感じておられる方の支えになれるよう寄り添い、信頼される社協を目指し尽力してまいります。また、社会的孤立などますます深刻化する福祉課題に向き合い、これまで以上に住民の皆様との協議や関係機関と連携を図り、福祉のコミュニティの充実に努めてまいります。

皆様方には、より一層のご理解とご支援を賜りますとともに皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 中土佐町社会福祉協議会

会長 坂井 貞嗣

一致団結

心機一転

ポジティブ

わきあいあい

チャレンジ

透明性

思いやり





# 特集



## 社協のこと おしえて 3

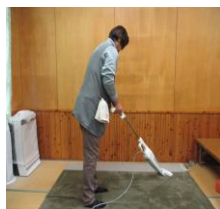
～福祉の現場をのぞいてみよう～

### 訪問介護事業所(ホームヘルパー) 編

訪問介護事業所は、訪問介護員が要介護・要支援状態にある高齢者や障害者のご自宅へ訪問し、利用者の特性を踏まえて日常生活を営むことのできるよう入浴・排泄・食事の介助・その他生活全般にわたる援助を行っています。自立を促し、心身の機能の低下を防ぐことで生活機能を維持したり、高めたりするサービスです。

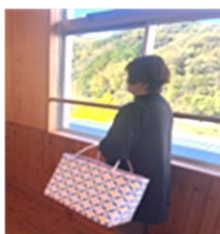
ホームヘルパー のとある1日

9:00



Aさん訪問  
日常お使用の場所の掃除をさせていただきます。

10:30



Bさん宅訪問  
利用者さんの希望を聞き、買い物に行きます。

13:30



Cさんに同行支援  
生活に必要な買い物や病院へ同行します。  
また、喫茶店等へのおかけもあります。

14:45



Dさん宅訪問  
日常お使用の場所の掃除をさせていただきます。

16:00



Dさん宅訪問  
入浴介助をします。  
ご本人のできないことのお手伝いをします。



## 職員の主な業務内容

○身体介護…おむつ交換、入浴介助、清拭、食事介助、体位変換、着替えの介助、服薬介助、移動介助など

○生活援助…日常お使用の場所の掃除、洗濯、買い物、生活相談、調理、衣類の整理など

### 働いている職員にインタビュー



#### ○仕事のやりがいは何ですか??

- ・利用者に「ありがとう」「また来てよ」と言ってもらえると嬉しいです。
- ・在宅生活を続けていくことにつながっているのも、利用者の役に立てているという実感があります。
- ・サポートすることで利用者自身のできることが増えていきます。それを見られることが嬉しいです。

#### ○職場の雰囲気はどうか??

### ホームヘルパーの休日



小さな畑で野菜を作っています。  
休みの日は土をいじってストレス解消しています！  
知り合いに配って喜んでもらえたり、採れたて野菜で料理をすることが楽しみです！





# 大野見みんなの文化展

## 2024. 11. 28～30

大野見体育館にて第5回目となる「大野見みんなの文化展」が開催されました。住民で構成する「大野見みんなの文化展実行委員会」の主催で、準備から当日までの運営を行いました。

大野見地区住民のみならず、中土佐町内外から参加者があり、今年は新たに作品展示で3名・ステージ発表で久礼ハーモニカクラブと久礼中学校吹奏楽部の2組が初参加。「知り合いや孫が出るなら」と初めて来場した人や「久しぶりに外出した」という人もおり、参加者の輪が広がっています。飲食スペースではプチ同窓会も行われみんなが笑顔に。昨年から引き続き参加した人からは「この文化展に向けて作品作りや練習に励んでいる」と、生きがい作りにもつながっています。最終日には、ステージ発表や大野見の地域を盛り上げようと活動する地元団体の飲食販売もあり会場は大賑わい！3日間で400名を超える過去最高の来場者数（協力者含む）となり、大盛況で幕を閉じました。



# ふれあい作品展

今年で十三回目になる「ふれあい作品展」を十一月八日（金）～十日（日）で開催。三日間で延べ三百十一名の来場がありました。

今年は、三十三名の地域の方が作ったバックやマフラ、絵ハガキ、漫画、アクセサリーなどの様々な作品を展示・販売しました。最終日のこどもセンターとコラボした「はぐまるまつり」ではスタンプラリーをする子どもたちがセンター内を駆け回り賑やかな作品展となりました。参加してくれた子どもたちには、シャボン玉の景品がまわる利用者から配られ、つかの間の交流に大人も子どもも楽しく過ごすことが出来ました。

中土佐町の人口は毎年お

よそ二百人ずつ減っています。地域行事も少なくなり、地域のつながりや支え合いが希薄化するのにも無理もないかもしれません。しかし、いざという時にはそのつながりが大きな力を発揮します。ふれあい作品展のような多世代が交流できる機会を意図的に設け、関わる人を増やしなから地域のつながりが保てるよう取組んでいきます。



ストーンアート・貝殻アート・マスコットづくり・レジンアクセサリの体験教室も人気